

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 8 - 62

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		雄武ブランド向上・チャレンジサポート事業					
評価者	担当課名	産業振興課		担当係名	商工観光係		
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長	
		氏名	石井弘道		氏名	齋藤康志	
事業の概要	当町特産品のブランド力を向上させるため、幅広い分野における住民や団体等取り組みに対して、横断的な対応のもとで必要なアドバイス等を実施する。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 年度) 事業費 国・道支出 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計 千円		
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )			
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業		非登載事業	優先度	A	
事業の位置付け	政策目標	1 はつらつ・雄武 ~ 地域産業の振興 ~					
	基本施策	5 観光の振興					
	単位施策	2 雄武観光の魅力化					
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務			
	その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	千円	0 千円	千円	千円	
	合計	千円	千円	千円	千円	千円	

152

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町内産業団体、商工業者	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	雄武ブランドの確立に向けた、産業団体・事業者間の連携の不足	なし			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町全体による一體的な雄武ブランド向上に向けた取り組みを行う。	指標 (指標計算式 / 解説)	目標値及び実績値		
		目標年度			
		目標値			
		実績値			
達成度	%				
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	ブランド力向上による地域力向上と町経済の活性化	目標年度			
		目標値			
		実績値			
		達成度	%		
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
町内産業団体、商工業者への支援	町内産業団体や事業者が都市部において特産品PR等を行う際の支援				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	地域力向上と町経済活性化のために必要であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	
必要 / 概ね必要 / 課題あり		

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

課題あり	設定した目標値の達成状況	実施主体である産業団体・事業者から理解が得られておらず、実績に乏しい。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	
有効 / 概ね有効 / 課題あり		

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	コストは発生していない
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	
効率的 / 概ね効率的 / 課題あり		

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	町全体に寄与するものであることから、公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	
公平 / 概ね公平 / 公平でない		

### 4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
C		
関係者からの事業に対するニーズが無い。		



休止		
事業に対するニーズについて機運が高まるまで休止とする。		

\* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

### 5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--